

# 福島県立医科大学

## 総合診療専門研修プログラム



新専門医制度対応  
20170915版

# 総合診療専門医の使命

- 日常遭遇する疾病と障害に対して適切な**初期対応**と必要に応じた**継続的診療**
- 地域ニーズをふまえた**予防、介護、看取り**  
**保健・医療・介護・福祉活動**
- 人々の命と健康に関わる**幅広い問題**に適切に対応する使命

# 研修修了時の到達点

- 診療所の常勤医として
  - こどもからお年寄りまで受け入れられる診療
  - 在宅医療を提供し家での看取りまで
  - 保健師と協力して住民の健康づくり など
- 病院の勤務医として
  - 中小病院で臓器を問わず入院・外来診療
  - 高齢者・多疾患併存患者の管理
  - 救急外来での初期診療 など

**どちらにも対応できる医師に**

# 総合診療専門医の専門性

～7つの資質・能力～

- ① 包括的統合アプローチ
- ② 一般的な健康問題に対する診療能力
- ③ 患者中心の医療・ケア
- ④ 連携重視のマネジメント
- ⑤ 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ
- ⑥ 公益に資する職業規範
- ⑦ 多様な診療の場に対応する能力

# 制度上の研修期間

研修科	期間	備考
総合診療 1	6ヶ月以上	合計18ヶ月以上
総合診療 2	6ヶ月以上	
内科	12ヶ月以上	臓器別でない内科診療
小児科	3ヶ月以上	外来・入院・救急
救急科	3ヶ月以上	
選択	自由	外科、整形外科、放射線科、産婦人科、皮膚科、総合診療の延長 など

3年間（36ヶ月）以上の研修が必須

# 総合診療専門研修（制度上）

36ヶ月の研修

総合診療 18ヶ月 総合診療 I（診療所） + 総合診療 II（病院総合診療）	
小児 3	救急 3
内科 12ヶ月	

あれ、選択科目は・・・？

これからの日本の医療を担う総合診療専門医



福島県立医科大学

地域・家庭医療学講座

Department of Community and Family Medicine

総合診療専門医の育成に**全力で**取り組みます！

# 福島医大 総合診療研修 3つの特徴

1. 総合診療を**本当に**わかっている指導医
2. **教育**を中心に据える大学講座
3. 勤務先・研修先は最大限**希望**を考慮



# 1 総合診療を**本当に**わかっている指導医

日本ではまだ 総合診療（家庭医療）はマイナー

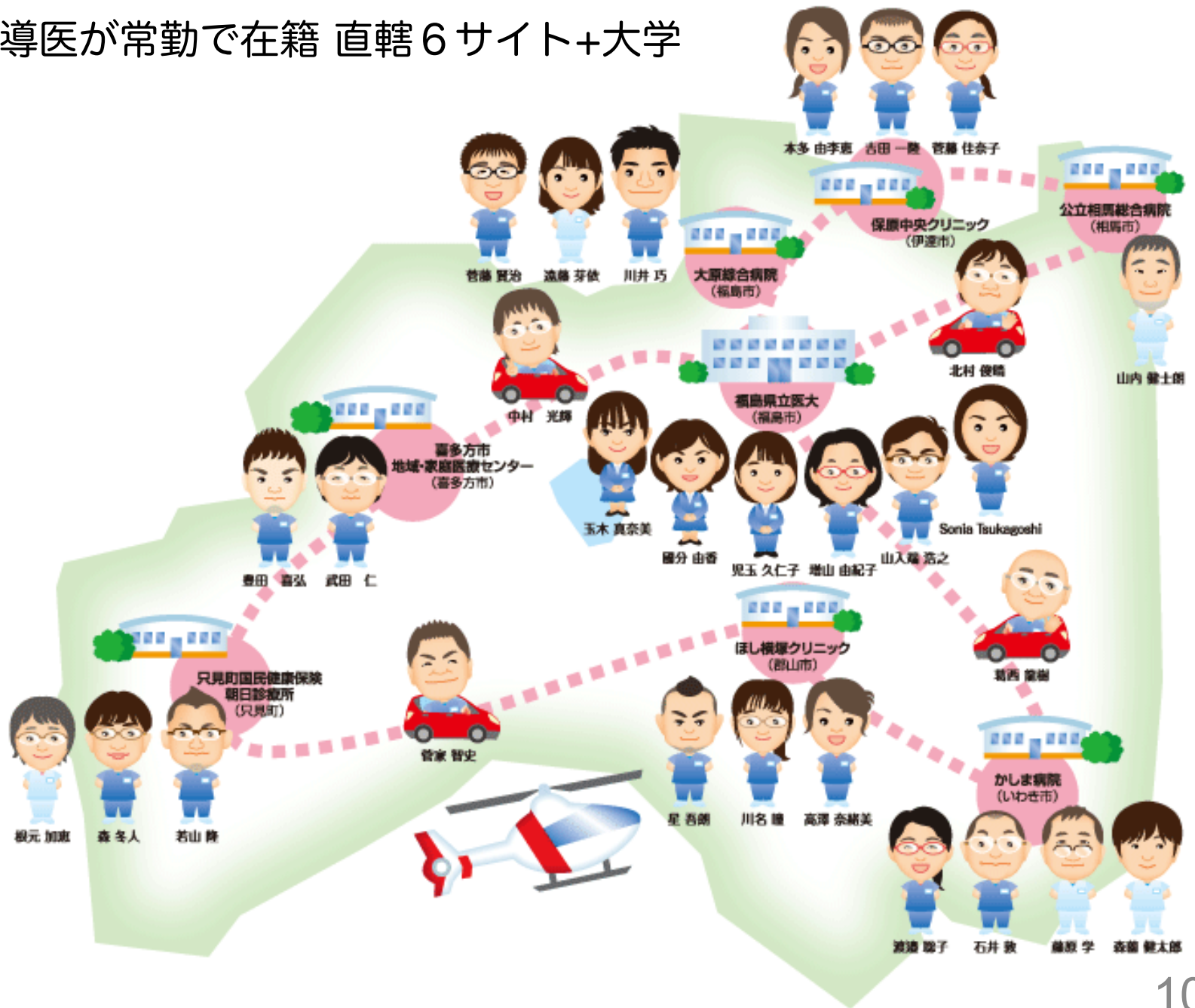
海外では発達しており

総合診療ならではの考え方がある

総合診療（家庭医療）を学んだ指導医が

**20人**在籍するのは全国トップクラス

# 指導医が常勤で在籍 直轄6サイト+大学



## 2 教育を中心に据える大学講座

大学の医局は研究重視・・・と思われがち

地域・家庭医療学講座は

**「家庭医の育成」** を中心に据えて10年

月1回 専攻医向け勉強会

週1回 インターネットカンファレンスが**3種類**

学びたい人にはどんどん学んでもらえる環境

### 3 研修先・勤務先は最大限希望を考慮

医師にも家族があり、生活がある  
ライフイベントだってある

研修計画は「研修内容」「研修場所」など  
可能な限り希望を考慮

妊娠・出産・育児や病気療養、家族の事情  
勤務先の環境や勤務時間も含めて最大限支援

# 福島医大 総合診療専門研修

48ヶ月の研修プログラム

総合診療 24ヶ月 総合診療 I (診療所) + 総合診療 II (病院総合診療)		
内科 12ヶ月		
小児 3	救急 3	選択 6ヶ月

# なぜ4年なのか

- 総合診療研修の充実
  - 総合診療医のもとでじっくり学ぶ重要性
  - 総合診療の特徴「継続性」を学ぶ機会を担保
- 学習者中心の研修の実現
  - 専攻医一人ひとりの希望に合わせた研修機会の提供
  - 「専攻医」という身分を有効活用
  - 多彩な研修協力医療機関での**選択研修**
    - 漢方 放射線読影 整形外科 精神科 etc

# 1年ずつに分けて考えてみると

病院研修

内科

診療所研修

総合診療 I

病院研修

小児科  
救急科  
選択

病院研修

総合診療 II

# ローテーション例

専攻医1年目  
(医師3年目)  
病院

総合診療II 12ヶ月

専攻医2年目  
(医師4年目)  
病院

小児 3

救急 3

漢方選択

整形選択

ハーフデイバック (週1回程度の総合診療外来)

専攻医3年目  
(医師5年目)  
病院

内科 12ヶ月

ハーフデイバック (週1回程度の総合診療外来)

専攻医4年目  
(医師6年目)  
診療所

総合診療 I 12ヶ月

※必須の月数を守れば、順番や期間変更は問題なし



# 福島県内全域に広がる研修施設

医療圏	2016.6 現在 病院名	必修					その他 6ヶ月																			
		総診Ⅰ 6-12ヶ月	総診Ⅱ 6-12ヶ月	内科 6ヶ月	小児科 3ヶ月	救急科 3ヶ月	外科	消化器科	整形外科	精神科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	神経内科	脳外科	眼科	耳鼻科	放射線科	漢方内科	リハ科	緩和ケア科					
中通り	県北	福島県立医科大学附属病院					●																●			
		大原総合病院		●	●	●	●																			
		公立藤田総合病院		●	●	●	●																			
		福島赤十字病院		●	●	●	●																			
		わたり病院		●	●	●	●																			
		JCHO二本松病院 保原中央クリニック	●																							
県中	太田西ノ内病院	星総合病院		●	●	●	●																			
		寿泉堂総合病院			●	●	●																			
		公立岩瀬病院		●		●	●																			
		ほし横塚クリニック	●																							
県南	白河厚生総合病院		●	●	●	●																				
浜通り	相双	公立相馬総合病院			●	●																				
		南相馬市立総合病院	●	●	●		●																			
いわき	かしま病院	福島労災病院		●	●																					
		福島労災病院		●	●																					
会津	会津	竹田総合病院			●	●																				
		会津医療センター附属病院			●																					
		会津中央病院					●																			
		喜多方市地域・家庭医療センター	●																							
南会津	南会津	県立南会津病院																								
		只見町国保朝日診療所	●																							

希望する研修内容や条件に合わせて検討

# 福島県立医科大学

## 総合診療専門研修プログラム

<申請中>

期間	4年間
プログラム 認定	日本専門医機構 総合診療専門研修プログラム（申請中）
身分	研修先医療機関の正規職員 かつ 福島県立医科大学附属病院 専攻医
給与 健康保険等	正規職員として研修先医療機関の定めるところによる （社会保険完備） 研修期間の給与は 年収800万円～1200万円程度
修了後進路	研修サイト指導医としての勤務 大学院博士課程への進学 大学教員（助手）としての勤務 など 希望に合わせ相談
専門医資格	日本専門医機構 総合診療専門医の受験資格

# 当プログラムの タイムスケジュール

日程	内容
～10月31日	研修相談・願書受付
～11月15日	面接
〃	専攻医 志願プログラム登録
12月1日	採用決定
＜当プログラムに採用が決まったら＞	
2018年 1月	H30.4 からのローテーション計画・勤務先相談
2月	ローテーション先決定
4月	勤務・研修開始 オリエンテーション開催

※日本専門医機構のスケジュールにより遅くなる可能性があります